

ICT 導入協議会（第17回）

議事概要

1. 開催日時：令和5年9月14日（木） 15：00～17：00
2. 場 所：中央合同庁舎2号館 高層棟国土交通省第2会議室A（WEB 併用）
3. 議 事：
 - (1) ICT施工の普及拡大に向けた取組
 - (2) ICT施工の対象工種の拡大に向けた取組
 - (3) ICT施工の普及に関する業団体等からの意見
 - (4) その他
 - ・ 建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト
 - ・ 建設施工における現場作業支援の DX に関する WG
 - ・ 話題提供

（ 概 要 ） ○ 委員 、 ● 事務局

(1) ICT 施工の普及拡大に向けた取組（資料-1）

- 国土交通省発注工事において、ICT 対象となる工事のうち令和4年度の実施率は87%であった。
- ICT 施工の普及拡大のため、アドバイザー制度、i-Construction に関する研修や ICT 経営者セミナーの開催などを実施。
- 令和2年7月29日にインフラ分野の DX 推進本部を設置。
令和5年8月に「インフラ分野の DX アクションプラン（第2版）」を策定。
- 令和5年度から BIM/CIM 原則適用を開始
- ICT プラットフォーム（仮称）の進捗状況を説明
- BIM/CIM データの活用として、設計から ICT 建機への円滑なデータの引き渡しについて検討を行う。

（主なご意見）

- BIM/CIM については、データを作るのが目的だけでなく、有効的に活用するのが目的
- ICT プラットフォームについては、施工管理上必要なもののみならず、維持管理にも活用できるように検討頂きたい。また、出来高払いの活用についても今後検討頂きたい。
- 設計から ICT 建機への円滑なデータの引き渡しについては、BIM/CIM 有効活用の観点から、是非進めていただきたい。

(2) ICT 施工の基準類の策定・改定の取組（資料-2）

- 令和6年度の適用開始に向け、令和5年度は、ICT 構造物工（基礎工適用工種拡大）及び小規模工事へ

拡大するために道路付属物工、電線共同溝工への工種拡大の検討を実施。

- 民間等の要望も踏まえ更なる工種拡大として、令和6年度の適用開始に向け、令和5年度に11技術の基準類改訂に向けた検討を実施。
- 技術基準のスリム化（3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の要領改編）を令和5年度実施。

（主なご意見）

- 技術基準のスリム化については、案が出来た段階で、お示しして頂きたい。
スリム化を行った後も、改善要望があったら、適宜改善して頂きたい。
- ICT活用工事は3次元データを活用することが原則のため、民間提案の2Dマシンガイダンスバックホウの扱いについては、注意して頂きたい。

（3）ICT施工の普及に関する業団体等からの意見（資料—3）

- 合計312件の意見を頂いた。頂いた意見については、次回ICT導入協議会において対応方針を説明する予定。

（4）その他

- 建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト（資料—4）により、令和4年度評価結果及び令和5年8月31日から実施している中小企業イノベーション創出推進事業について説明
- 令和5年8月9日に開始した「建設施工における現場作業支援のDXに関するWG（資料—5）」について説明
- I-Construction 施工推進本部 情報化施工委員会よりICTの積極的な利活用に向けた情報発信について情報提供

以上